

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念をHP上に掲載し、従業員およびステークホルダーに周知している。 ・ISOに基づくPDCAの不断の実行により、会社の目標に向かって着実に進む文化が醸成されている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令関係専門の情報提供サービスや業界団体のセミナーなどを活用し情報を積極取得し、法令順守状況チェックリストを定期的に更新し、内部監査にて確認している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正行為防止方針についてHP上に掲載すると共に、掲示板等にも貼付し周知している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・ISO担当部門として環境委員会を設置し、事業活動の環境影響評価を行うとともに、内部監査の実施、各種マニュアルの整備、従業員への環境教育を定期的に行っている。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・Webサイト等におけるcopyrightを確認している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・Pマークの認定を取得し、個人情報保護委員会の設置と個人情報保護マニュアルの制定およびその運用・教育を行い、個人情報の漏洩防止を徹底している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様や地域住民の皆様からの声(ご意見・苦情等)を専用様式にて取りまとめ、経営層や幹部へ速やかに報告し、迅速な対応および防止活動への反映に取り組んでいる															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●					5				8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・年に1回避難訓練を行っている ・【予定】BCPの策定を2024年度に行う。(2025年3月まで)									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・2023/8/7に事業承継の特例を承認済みである。 ・2024/2/24に西原静絵が取締役副社長(西原哲社長の妻)に就任。西原茂雄会長からの引継ぎ体制を万全にした。								8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定め、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・内部相談窓口に加え、2024/4/1より外部相談窓口を新たに設置した。 ・【予定】2024年9月までに、管理職および一般社員にハラスメントに関する研修を実施する。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会及び下部組織である事故防止委員会を設置し、交通事故、構内事故の予防を図っている。 ・定期内部監査にて危険個所の早期発見、対策の実施と労災事故の予防を図っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員と正社員以外の不合理な待遇差を設けないようにしている。 ・非正規社員や派遣労働者からの積極的な正社員登用を図っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・家庭の様々な事情に配慮し、時短勤務といった柔軟な勤務時間を取り入れている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・一定期間勤務した従業員を対象に運転免許の取得支援制度を制定し、運転手への登用を推進している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇給等に、性別の違いによる差別的待遇はない。 ・定年後も、本人が希望し能力に遜色があれば定年後再雇用社員として継続して雇用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・社内SNSなどを活用し、迅速な情報共有を実施している。 ・本社新築によりテレビ会議システムを常設し、社内外といつでもウェブ会議が実施できる体制を整えている。 ・傷病等で長期療養をやむなくする際は、本人の申し出により、十分なセキュリティは保持した上でPC等の貸し出しを行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・【予定】業務システムを最新の廃棄物業専用システムに刷新し、2025年3月までに積～受注～配車～回収～請求処理まで一貫して行える体制とし効率化を図る。 ・HPでの簡易見積もりやLINEアカウントでの受注を可能としている。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001の認定を受けている。 ・自社の事業に伴う産業廃棄物を適切に管理及び処理している。 ・現在使用中のトランス(PCB廃棄物(低濃度))の管理および期限までの適切な処理を計画している。→2024年3月にすべて完了済み。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・ISO14001にて電力および使用車両の燃料の把握を行っており、単位売り上げ当たりの電力使用量の削減および燃費の向上を図っている。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・ISO14001にて簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出している。 ・回収業務以外の営業車両は、全てハイブリッド車とし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・毎月1回、本社周辺の清掃活動を行っている。 ・浜線バイパス沿いの企業と共に年3回のボランティア清掃を行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・本業(廃棄物処理業、資源リサイクル業)をさらに推進する。 ・電子化によるペーパーレスを図るとともに、裏紙の利用を推進している。 ・運転手にエコドライブ講習を行い、燃費の向上を図っている。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・古紙梱包機械(ベラー)及び付随するクーリングタワーを新調したことにより節水に取り組むとともに、汚水の適切な処理等を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・業務にて使用するOA用紙はグリーン購入した再生紙を使用している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・食品リサイクルについての技術研究を行い、食品リサイクル施設の建設計画を進めている。 ・食品残さを大量に廃棄される排出事業者様の食品リサイクルへの取り組みに積極的に協力や提言を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・2022年8月に移転した新本社に太陽光パネルを導入し、自家消費している。 ・収集運搬車両の運転手には定期的にエコドライブ講習を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・タイヤの摩耗くずが、マイクロプラスチック汚染の原因物質となっていることから、ISO14001の環境目標に単位売り上げ当たりのタイヤの使用量削減を盛り込み汚染現象に取り組んでいる。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・営業担当が使用する車両はすべてハイブリッド車としている。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2022年8月に移転した本社工場には太陽光パネルを設置した。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品やサービス提供時に想定されるリスクの分析と対策を実施している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・聞こえづらい方のために、計量終了時視覚でわかるようにパトライトを設置をしている。 ・2022年8月に移転した本社事務所には多目的トイレを設置した。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・廃品回収受託者として、各自治会や子供会の運営に参画している。 ・地元自治会への寄付を行っている。 ・浜線バイパス沿いの企業と共に年3回のボランティア清掃を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・定期的に避難訓練を行っている。 ・【予定】頻繁に水没し、事業の遂行に支障をきたしていた浜線駐車場を2024年10月までに移転する計画を進めている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・熊本市教育委員会が後援した職場紹介の冊子作成に参加し、事業について理解を深めてもらう取り組みを行った。 ・小学生の工場見学の受入など、地域の教育環境向上に取り組んでいる。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	